

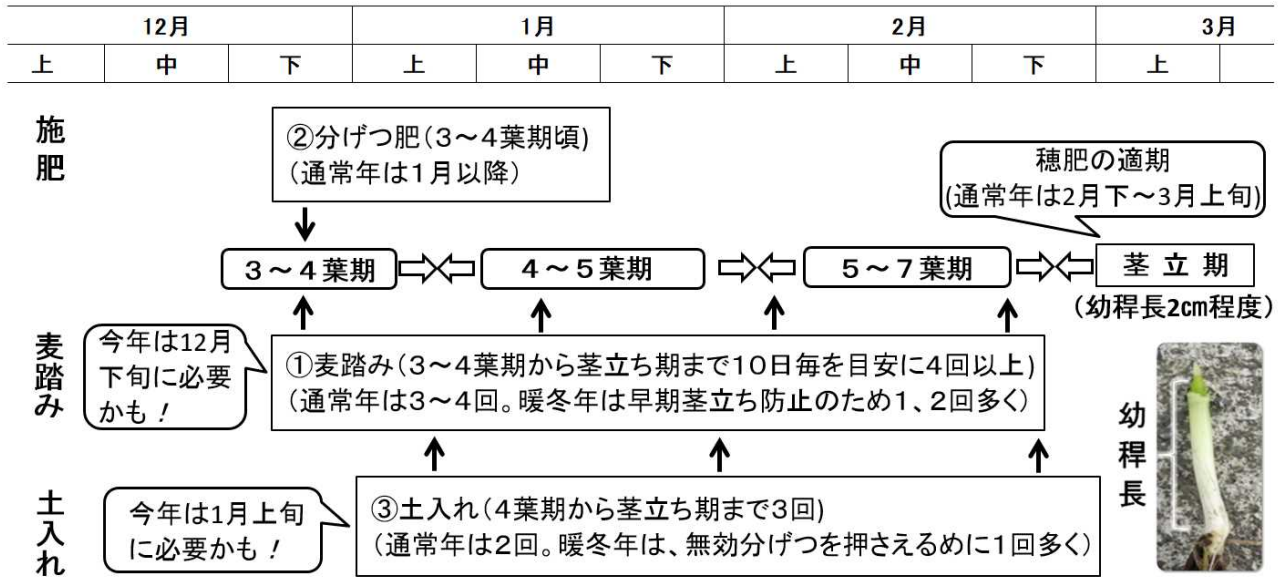


暖冬年の管理作業

11月中旬から暖かい日が続いており、気象庁の予報では今後も暖かい日が続くと予想されています。暖冬年は生育が早くなります。過繁茂を防ぐため、麦の生育を確認して、年内から麦踏みを行う準備をしてください。

11月中～下旬播種の管理作業！

過繁茂、早期茎立ちを管理作業で抑えましょう！



①麦踏み

麦が傷つくことで寒さや乾燥に強くなり、生育がそろい、節間長が短くなることで倒伏を防止します。また、早期茎立ちを防ぎ凍霜害を予防します。

※ 土壤水分が多いと、土が絞まり、麦の生育が抑制されるため、靴に土が付かない程度乾燥した時に行いましょう。

②分げつ肥

穂になる茎を増やし増収させます。肥切れを起こさないためにも、3～4葉期に窒素成分で2kg/10a施用しましょう。

③土入れ

倒伏防止のほか、無効分げつをおさえる効果があります。

生育過剰な圃場は回数を増やし過繁茂を押さえましょう！

排水対策、除草対策にもなります。

1回目は、生育を押さえすぎないように、軽めに行います。

2回目以降は、倒伏防止、凍霜害予防のため、強めに行いましょう。

排水が悪いと、適期作業も困難になります。停滞水がある圃場はクワで排水溝を連結するなど早期排水に努めましょう！